

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## はな こと は ひび たましい 放て！言の葉 響け！魂

～高校生書道パフォーマンス&現代詩のつどい～

「高校生書道パフォーマンス&現代詩のつどい」が2月8日に交流センターで開かれ、見物人は高校生による迫力のある書道パフォーマンスや、詩の朗読を通して言葉の世界を楽しみました。

秋田北鷹高校、大館鳳鳴高校、能代松陽高校3校書道部によるパフォーマンスでは、音楽に合わせて、縦4～5m、横5～7mの大きな紙にエネルギーに筆を走らせ、見物人から盛んな拍手が送られました。また、詩の朗読では、合川北小学校6年生、鷹巣朗読ボランティアやまびこ、秋田県現代詩人協

会員らが、情感豊かに詩を朗読し、今年開催される国民文化祭の気運を高めました。



▲大きな拍手が送られた書道パフォーマンス

## 小正月行事が15年ぶりに復活

～葛黒火まつりかまくら～

葛黒集落の小正月行事「葛黒火まつりかまくら」が2月16日に行われ、市内外から500人以上の見物人が訪れました。

この行事は、稲わらや豆殻をくくり付けた御神木に火を点けて燃え上がらせ、「ウワー、かまくらの権五郎」と叫び無病息災や五穀豊穡、無火災を祈願するものです。平成10年に途絶えていましたが、文化財などを活かして地域活性化に取り組んでいる「おさるべ元気くらぶ」の協力を得て復活しました。

当日は、地元の鷹巣南小学校の全校児童、鷹巣南

中学校の生徒、ボランティアなども協力し、15年ぶりの行事に盛り上がりました。



▲無病息災や五穀豊穡、無火災を祈願

## 歌声あふれる学習会

～合川ことぶき大学「冬期学習会」～

合川ことぶき大学冬期学習会が、1月29日に合川公民館で開催され、45人の学生が参加し、歌を通じた学習を楽しみました。

はじめに北秋田市在住のシンガーソングライター・本城奈々さんが、今年開催される国民文化祭に向けての講話とミニコンサートを開き、「バターもちのうた」やオリジナル曲などを披露しました。

続いて、合川東小学校歌声クラブの児童と、コールつくしんぼによる合唱が行われ、手話を交えながら心を込めた歌声が響きわたりました。合川東小学

校の校歌を聞き、自分でも口ずさみながら昔を懐かしむ学生も多くいました。



▲ステージ上の児童と紙テープでつながる学生

### 書道パフォーマンス作品展示

開申 生涯学習係 ☎62・1130

2月8日に行われた高校書道パフォーマンスの作品を展示します。  
期間 3月5日(水)～10日(月)  
場所 中央公民館ホール

### 合川公民館公開講座

「第3回合川ろばた講座」

開申 合川公民館 ☎78・2114

市民公開講座「合川ろばた講座」の3回目を開講します。皆さんお気軽においでください。

日時 3月12日(水) 13時30分～15時  
会場 合川農村環境改善センター  
演題 「中世における阿仁」  
講師 合川地方史研究会  
顧問 福岡龍太郎氏  
参加費 無料 ※申し込み不要

### 森吉公民館公開講座

「鳥居先生のハートフル講話会」

開申 森吉公民館 ☎72・3259

日時 3月14日(金) 14時～15時30分  
会場 森吉コミュニティセンター  
テーマ 「わかち愛のこころとこ近所力を確かめる」  
講師 鳥居一頼氏  
参加費 無料 / 定員 50人  
(地域福祉アドバイザー)

### 綴子公民館公開講座

開申 綴子公民館 ☎62・1472

#### 〇ちりめんで作る干支の馬

期日 3月9日(日)、16日(日)

時間 9時30分～11時30分

会場 綴子公民館

講師 菊池洋子氏

材料代 1000円

定員 15人

持ち物 裁縫道具、筆記用具

#### 〇綴子の歴史を語る会

期日 3月9日(日)

時間 13時30分～16時

会場 綴子公民館

講師 藤島康一氏

参加費 無料 / 定員 15人

### 浜辺の歌音楽館少年少女合唱団

開申 浜辺の歌音楽館 ☎72・3014

郷土出身の作曲家・成田為三先生の作品を中心に、いろいろな曲を歌い、活動している合唱団の春のコンサートを開催します。皆様お誘い合わせのうえ、おいでください。

期日 3月29日(土)

時間 開演13時30分

会場 浜辺の歌音楽館

入場料 無料

## ふるさとの文化財

72

### 北秋田市指定無形民俗文化財

(民俗芸能)

#### 〇「荒瀬獅子踊り」

◇所在地 北秋田市阿仁荒瀬  
◇管理者 荒瀬獅子踊り保存会

#### 〈内容〉

大名行列を模したものに獅子舞を組み合わせています。女獅子をめぐって二頭の雄獅子が争う姿を演じますが、獅子踊りのほかにぶっこみ、棒、駒、道化万歳がついています。

#### 〈起源〉

秋田佐竹の殿様の参勤交代の道中に踊るとともに、先祖の霊を慰めるために踊ったと言われています。(火災のため資料を消失)

天保大飢饉以降は一時中断していましたが、明治25年(1892年)頃に再興し、保存会が結成されて現在に至っています。

#### 〈構成〉

道護(サシモ)は大名行列を模したもので、行列で行進しながら踊ります。「ぶっこみ(大名行列)、獅子踊り、棒術、道化万歳」の順で演じています。

◇毎年8月13日公開(墓地、集落



▲荒瀬獅子踊り

内で演ずる。北秋田市民俗芸能大会、秋田県民俗芸能大会に出演、市内地域行事への参加のほか、阿仁中祭での郷土芸能発表に協賛。  
▽平成7年3月6日指定文化財  
▽資料/北秋田市教育委員会作成  
資料、「広辞苑」、保存会聞き取りほか  
▽紹介者/北秋田市民文化財保護審議会委員 照内捷二  
〇北秋田市民俗芸能大会  
芸能を一同に集めて市民に公開することで、民俗芸能への理解と関心を高め、振興及び保存と伝承につなげることを目的として毎年実施されています。  
〇北秋田市の伝統芸能  
市内で最も広く伝えられている芸能は、獅子踊り、駒踊り、奴踊りです。由来はほぼ共通していて、佐竹侯が常陸から秋田へ国替えされたとき、家臣が君主を慰めるために考案された道中芸がルーツとされています。